

令和5年度第1回四倉地区まちづくり検討会 要 旨

■ 日 時

令和6年2月15日（木） 18:30～19:45

■ 場 所

四倉商工会館 大会議室

■ 会議の流れ

- 1 開会
- 2 挨拶
 - ・都市計画課長
 - ・四倉地区行政嘱託員(区長)協議会 副会長
- 3 議事
 - (1) 基本計画の策定にあたって
 - (2) 四倉地区市街地再生整備基本計画（素案）について
 - (3) 今後の予定について
- 4 その他
- 5 閉会



■ 意見交換の概要（要旨） ○：関係団体委員 ⇒：事務局・行政委員 ●講師

（説明：基本計画の策定にあたって）

○ ご意見なし

（説明：四倉地区市街地再生整備基本計画（素案）について）

まちづくり団体関係者様

○ いままでの会議に参加させていただき、ようやくここまでまとまったと感じています。計画については、早期実現を目指して頑張りたいと思っています。

○ 交流・防災拠点施設については、計画素案の P37 にも記載してあるとおり、完成までの間に、各検討段階において民間対話を実施していくとのことなので、みんなで理想的な施設を目指していきたいなと思います。また、民間収益施設についても、駅裏の方々の利便性を考えた上で、早期整備を実現できたらいいなと思っています。

⇒ 民間対話については、ワーキンググループメンバーの皆様からも意見がありました。今後の設計等の段階においても、行政のみで進めるのではなく、地域の声を聞いてほしいと伺っており、我々は強く受け止めています。地域の皆様の声の反映の仕方を含めて、検討を進めていきます。

また、民間収益施設については、土地所有者様が土地の活用を検討していくことになります。我々としても地区の方が望むような土地活用を検討していただきたい旨のお話はさせていただいておりますので、これからも土地所有者様とは、皆様の声を共有させていただき、皆様のために役立つような土地利用に繋げて行ければと考えております。

PTA 関係者様

○ 計画素案 P32 の機能連携と配置のイメージ図について意見があります。屋外施設にプールが含まれていますが、他の市町村では学校のプールの事業を民間業者（スイミングスクール）に委託している事例もあります。また、もっと広域で考えた場合、いわき市の北部の小中学校を担えるようなプールを整備しておけば、他の学校の維持管理費を削減できるかもしれないです。さらには、先生の負担も減る可能性もありますし、プロの方に授業をしていただくことで水泳の力がつく可能性もあります。メリットもあれば、もちろんデメリットも考えられますが、現時点では屋外施設に含めるのではなく、将来の運用を想定したときに、屋内と屋外のどちらにも転べるような計画にしておいた方がいいと思いました。

⇒ 実はワーキンググループでも同様の意見をいただいております。その時の資料では屋外プールと記載しており、ご意見を踏まえ、プールに修正した経緯があります。ただし、ご指摘のとおり、機能の枠が屋外施設のままでしたので表現の仕方については検討させていただきます。

なお、ワーキンググループでの事務局回答につきましては、「行政が屋内プールを整備し、運営していくことは困難であり、民間活力をどこまで導入できるのか、ビジネス的に成り立つのかどうかを検討のポイント」と、お答えさせていただきました。先ほど説明させていただいた、ロードマップにも記載させていただきましたが、事業手法の検討において、どの業務を民間で担えるのかを調査しながら事業手法を検討していきますので、その中で具体的なプールのあり方を整理していくことになります。

(説明：今後の進め方について)

○ ご意見なし

(説明：その他)

施設利用団体関係者様

○ 児童生徒の推移と施設規模について少し気になっていることがあるので教えてください。2023 年（R5）時点が 859 人とのことですが、学校の施設規模については、将来推計を踏まえて検討しているのでしょうか。それとも踏まえていないのでしょうか。我々としては今後、児童生徒が増えることが嬉しいのですが、減少傾向がみられるのであれば大きな施設をつくってもしょうがないと思っています。

⇒ 児童生徒数の将来推計は基本計画素案 P6 に記載しています。施設規模については、このような将来推計からクラス数を検討し、施設規模を算出しています。

⇒ 2028 年（R11）までの児童生徒数については、住民登録情報から積み上げた数字となっているので、ある程度、精度は高いものとなっていますが、整備を行うタイミングで、改めて、見込みうる児童生徒数は算出していきます。